

344

保存期限	決裁指定	決行指定
------	------	------

件名	受翰者	發翰年月日	案起		官長	發翰記號番號
			年月日	名部		
失明俘虜三關スル件照會	各俘虜收容所	昭和九年十二月十三日	昭和九年十二月五日	俘虜情報局	[Seal]	係給 第五三號
			帶	連		高級事務官
				局		
				課		庶務係事務官
				課		發翰取扱者
				員		主務取扱者
					[Seal]	[Seal]

連帶局課名

決行後同覽局課名

俘虜情報局

日本赤十字社経

貴收容所、停養中、失明者、
申請調査

左記事項調査可

調査回答相成度
左記

一、失明後、姓名、口籍、事業、
完全失明、隻眼、某程度視力喪失等、別

失明程度
失明程度

失明程度
失明程度

二、待遇
失明程度

失明程度
失明程度

三、其他
失明程度

三付キ果ニ通報有之ニ尚

ニ關シ申ホテ

此只收容所、後、療中失明者、左記ノ如ク調査

同答
追テ以テ面度
左記
記
其後、其化ヲ重ク
セリシ程

一、失明治療ノ姓名、國籍

(完全失明、隻眼、其程度視力喪失等別アラハ

其区分ヲ明カニセラレ度)

二、待遇ニ關シ特ニ考慮セラレアル点アラハ其ノ事項

(取締ニ關シ特ニ加アル平心、技術ヲ修得セシムル者、措置等)

三、其他参考事項

(失明者ノ心情、思想動向等)

546

参考

陸軍

	失明傷		香境係收	陸軍イ英	672	A.K. Mackenzie	両眼摘出
	英海兵	3163	RRJ. Wilson				
	陸兵	3249	G.R. Bridgely				
英	英	4129	サエトソン				両眼失明
英	英	4343	フアニアフェル				両眼強ト失明
ホルネオ	英空兵	2915	ジョウキョウキョウセシカン				
		2929					
	英陸軍兵	233	テイラー				両眼失明
	英海兵		ダビット				
	英AF.A.C.		Camron, J.O.				右眼衰失左眼盲
	英AF.A.C.		Roberts, R.J.				視力衰失
	英AF.Sgt.		Goudswaard, J.				右眼失明 左眼略失明
	英AF.Ptc.		Ransome, E.R.				視力衰失

548

比島俘虜收容所

米 非軍人

シモンセン・エス・タグリユ

視力喪失 八。%

陸軍 二等兵

ワレン・ビ・エフ

九四%

陸軍

ワオレリス・エル・エヌ

九九%

陸軍 一等兵

ワイルソン・エフ・エツチ

九六%

非軍人

ホイーラー・デイ・エス

盲目

陸軍

控

46, 549

控

俘給第二三號

臺灣俘虜收容所ニ關シ英國政府申出ノ件回答

昭和十九年五月五日

俘虜情報局長官

外務省在敵國居留民關係事務室
鈴木公使 殿

四月十九日附居普通第一九〇號來照首題ノ件左記ノ通回答ス
左記

- 一 甲號ニ付テハ臺灣俘虜收容所へ移牒シ置ケリ
- 二 乙號ニ付テハ俘虜收容所カ要塞地帶法施行區域内ニ在ルコトヲ以テ直ニ軍事目標附近ニ設定セラレアリトスルハ適當ノ見解ナリト思考ス瑞西國公使代理ノ金瓜石分所訪問ヲ拒絕セルハ要塞地帶ニ於ケル防諜上ノ措置ニ因ルモノト承知シアリ

俘虜情報局

控

長官

事務	事務	事務	事務	事務	事務
藤	正	横井	朱		

46口 550

俘給第二四號

臺灣俘虜收容所ニ關シ英國政府申出ノ件通牒

昭和十九年五月五日

俘虜情報局長官

臺灣俘虜收容所長 殿

首題ノ件ニ關シ外務省ヨリ別紙寫第一ノ通照會アリ之ニ對シ別紙寫
 第二ノ通回答シ置キタルニ付承知相成度

陸軍

551

保存期限	決裁指定	決行指定
------	------	------

件名	受輸者	年月日	發輸	案起		官長	發輸記號番號	
				年月日	名部			
臺灣俘虜收容所關於英國政府申出件回答	外務省在敵國居留民同僚事務室 鈴木公使						係給第 二 三 號	
		決行	帶	連	高級	事務官	事務官	
		局長		局				庶務係
		長		課				發輸
		員		課				取投者
	長官						主務	

連帶
局課名

決行後
回覽局課名

俘虜情報局

552

~~要地~~
~~要地~~
~~要地~~

四月十九日附居普通第一九〇號來照首題ノ件左記ノ通り

回答ス

法施行区域

左記

一、甲、號ニ付テハ臺灣ノ俘虜收容所ニ移附セリ

二、乙、號ニ付テハ要塞地帯ハ必ラスシテ軍事目標ナリ

過早ニ見解ナリト思ハルニ至リ
理ノ全分ハ

意味スルニ非ス、瑞西國公使代表者ノ第一收案

訪問ヲ拒絶スルハ
要塞地帯ニ於テ

所ニ赴カシメタルニ至リ
防禦上ノ措置ニ因ルモノナリ

シ置ケ

設置

直ニ

ト承知ニス

553

保存期限	決裁指定	決行指定
------	------	------

局連
課名帶

決行後
回覽局課名

俘虜情報局

件名	受輸者	年月日	發翰	案起		官長	發翰記 號番號
				日	月		
臺灣俘虜收容所三周之英國政府申出ノ件 附 牒	臺灣俘虜收容所長 長 官						係給第二四號
		決行後 回覽	帶	連	事務官	高級	事務官
		長	局				庶務係 事務官
		長	課				發翰 取扱者
							主務 取扱者



首題ノ件

二周

ノ外務省

在敵國

居留民

ノ保護

ノ手続

取寄

照會

ニ付

別紙

ニ付

取寄

ノ件

ニ付

取寄

相成

取寄

ノ件

ニ付

取寄

取寄

官	務	事	長官
高田	横井	保田	濱田

ハ
46 555

居普通第一九〇號

昭和十九年四月十九日

外務省在敵國居留民關係事務室

鈴木 公

俘虜情報局長官 殿

別紙添附

臺灣俘虜收容所ニ關シ英國政府申出ノ件
 曩ニ在京瑞西國公使代表カ臺灣俘虜收容所ヲ訪問セル際ノ報告ニ
 基ク趣ヲ以テ今般英國政府ヨリ衣料及果實増給方（別添甲號）竝
 ニ臺灣第一收容所ノ位置（別添乙號）ニ關シ夫々申出アリタル旨
 同公使館ヨリ通知アリタルニ付委細右ニテ御了知ノ上何分ノ儀御
 回示相成度

使

情報部
 昭和十九年四月二十一日
 第四號

外務省

556

甲
號

一九四四年三月二十四日附在京瑞西國公使館口上書
第 CVI.2.5EGC 號假譯文

瑞西國公使館ハ帝國外務省ニ對シ瑞西國公使代表者臺灣訪問ニ際
シ或收容所ニ在ル俘虜ヨリ衣料不足ヲ訴ヘラレタル旨ヲ通報スル
ノ光榮ヲ有ス例ヘハ第二、第三及第四收容所ニ於テハ多數俘虜ハ
胴着、襦袢、靴下、保暖下着及靴ニ不足シ居レリ瑞西國公使代表
者ハ臺灣ニ於ケル關係官憲ニ對シ同問題ヲ提起セル處右改善方ヲ
約束セラレタリ
尙果實ハ健康ノ爲極メテ良好ナル食料タルニ鑑ミ瑞西國公使代表
者ハ右増配方懇渾シタル處當該官憲ハ右希望ニ應スル用意アル旨
言明セリ
英國政府ハ右ノ情報ヲ得テ俘虜ニ對シ若シ其ノ不足シ居ル衣服及
靴ヲ交付セラレ果實ヲ一層多量ニ配給セラレハ甚タ欣快トスル
所ナル旨ヲ通報シ來レリ

外
務
省

557

公使館ハ外務省ニ對シ公使館カ右ニ關スル何分ノ情報ヲ英國政府
ニ供與シ得ル様斡旋方ヲ要請シ茲ニ重ネテ敬意ヲ表ス

外
務
省

(日本標準規格B5)

一九四四年三月二十四日附在京瑞西國公使館口上書
第 CC/125EGC CC/1.2 號假譯文

瑞西國公使館ハ帝國外務省ニ對シ瑞西國公使代表者臺灣ニ於ケル
俘虜訪問ニ際シ要塞地帯ニ在ル第一收容所ニ赴クヲ得サリシ旨ヲ
通報スルノ光榮ヲ有ス

右情報ニ接シ英國政府ハ要塞地帯ニ在ル收容所ノ位置ニ就キ日本
國政府ノ注意ヲ喚起シ日本政府ヨリ俘虜收容所ノ軍事目標附近ニ
設定セラレサル様悉スル處置ヲ取ルヘキ旨保證セラレンコトヲ希
望ス

右ニ關シ九月十五日及一月六日附公使館口上書ヲ以テ英帝國政府
ハ其領土内ニ於ケル日本人俘虜又ハ非戰鬥員抑留者收容所ヲ俘虜
條約ノ規定ニ基キ絶体ニ軍事目標附近ニ置カサルコトヲ保證セル
旨ヲ外務省ニ對シ通告セル次第ヲ參照セララルヘシ
公使館ハ外務省ニ對シ帝國政府ノ回答通報方ヲ依頼旁茲ニ重ネテ
敬意ヲ表ス

外務省

558



47 559

居普通第八四四號

昭和十九年十二月二十九日

外務省在敵國居留民關係事務室

鈴木公使

俘虜情報局長官 殿

米人俘虜ニ對シ「俘虜情報」傳達方ノ件

今般在京瑞西國公使館ヨリ米國政府ノ要請ニ基キ米國俘虜情報局發行ノ「俘虜情報」(別添甲號)送付ノ上右關係當局ニ於テ東亞ニ於ケル凡テノ米人俘虜ニ通達シ得ヘキヤ照會アリタルニ付右假譯文(別添乙號)ト共ニ送付ス該情報傳達方難取計ノ際ハ其ノ旨御通知相成度

別紙添附

外務省

「俘虜情報」假譯文（一九四四年四月改正）

概論、情報ハ俘虜トナレル米國軍人ニ對シ供與セラルベシ彼等ハ

要求、申請、問合ハ必要トナルベキニ付之ガ提出方勸奨セラル其

ノ方法ハ第十三項ニ記載シアル所ニ從ヒ爲サルベシ

給料及手當ノ計算

A、貸方、不在中俸給及手當ハ逮捕當時支給セル割合ニテ俘虜ヲ
貸方トシテ引續キ帳簿ニ記入セラル貸方ハ本俸、勤務期ノ長短、
在外勤務、飛行及落下傘手當並ニ宿舍手當、扶養家族ニ對スル
生活及宿所手當ヲ含ム日當ハ含マレズ不在中ハ法律、新規則、
長期勤務完了、昇給ノ理由ニ因ル俸給手當ノ増額モ貸方トシテ
記入セラル但シ正規軍ニ所定ノ階級ニテ勤務スル將校ハ試験ノ
上法的昇進ヲ爲シ得ルモ俘虜タルヲ以テ受驗シ得ザル場合ニハ
試験前ニ昇進セラルル階級ノ給料及手當ヲ貸方トシテ帳簿ニ記
入ヲ受クルコトヲ得ズ

561

B、借方、有ラユル目的ニ對スル割當、家族手當ノ控除、瑞西國政府ニ依リ健康、慰問ノ爲ニ俘虜ニ對シテ爲サル前貸金ハ借方トシテ帳簿ニ記入セラル抑留國ヨリ受クル俘虜ノ給與ハ借方トシテ記入セラレズ

C、俸給ノ處分、蓄積セル俸給又ハ現在ノ俸給ノ一部ヲ俘虜ニ直接送金又ハ支拂フコトハ實行シ得ラレズ俸給差引ハ割當又ハ家族手當ノ控除ニヨリテノミナサル寛大ナル割當法ニヨリテ多クノ金融事務ヲ處理シ居レリ

俘虜ノ俸給及賃金ノ用途、米國政府ハ合理的ナル共同救濟案即チ收容所ニ於テ俘虜ガ受領シ又ハ當然受領スベキ俸給及賃金ヲ收容所内ノ俘虜全体ノ爲ニ共同出資スルコトヲ獎勵ス獨逸ノ一收容所第三一スタラグ・ラフトニ於テハ將校、應召兵ノ區別ナク凡テノ俘虜ニ發行セラレタル食糧、娛樂及共同物品ノ貯藏物ヲ獲得スル爲共同生活上優秀ナル共同救濟案ヲ有ストノ報アリ斯ル案ニ依

562

リ伴房ハ收支決算經營及之等供給品ノ分配上ニ充分ノ權力ヲ遂行
スル事ヲ得其ノ際ハ報告方要望ス

外務省

戊

制當

A、特別制當

不在ノ當初ニ支給セル俸給ノ制當ハ不在中モ普通ニ繼續セラル被扶養者ヨリ満足ナル證明アル場合制當ハ増額セラルルカ或ハ扶養ノ爲成ハ生命保險繼續ノ爲新制當行ハルルカカル制當ハ被扶養者ノ請求次第又ハ陸軍長官ガ特別ノ事情ニヨリ正當ナリト思考スルトキ中止又ハ減額シ得ラル又被扶養者ガ必要ナル援助ヲ奪ハルルコトナキ様俸給ノ特別請求ニヨリ變更スルコトヲ得

B、通常制當

俸給ハ俸給及手當中ヨリ直接又ハ間接ニ陸軍省ニ通知シアル如キ任意制當ヲ作り又ハ夫ヲ増額シ得ル權利ヲ有ス制當ハ各個人、保險契約者、銀行ニ對シテ作ラレ又公債購入ノ爲ニ作ラルルヲ得請求ノ特別形式ハ必要トセラレザルモ各請求書ニハ人又ハ集團ガ支拂ヲ受クル目的、月額、支拂開始ノ月日姓名、住所ヲ明瞭ニ記載スベシ尙出來得ル限りハ署名、階級、

米軍ノ通シ番號、俘虜收容所ノ各名稱、請求ヲナス各件虜ノ通シ番號ヲ明瞭ニ記載スベシ増額スル目的ハ明瞭ニシ置クベシ實行可能ノ場合家族手當ハ陸軍省ノ手ヲ經テ被扶養者ニ對シテ請求セラレタル割當ノ全部又ハ一部ノ代用トスルヲ得ベシ但シ應召兵ガ家族手當ノ特權ヲ自覺シテ其ノ割當ヲ家族手當ニ加算シ或ハ家族手當代替支拂ヲ希冀スル場合ハ此ノ限りニ非ズ割當ハ不定期間ナサレ而モ請求次第ニテ變更又ハ中止スルコトヲ得

C、割當額、各種ノ割當又ハ控除ノ目的トナルベキモノノ總額ハ次ノモノヨリ成ル即チ本俸、勤務年限、在外勤務手當及士官ノ宿舍手當及生活手當、應召兵ノ扶養家族ニ對スル宿舍ニ代ルベキ金銀上ノ手當等ナリ捕獲前ニナサレタル兵士ノ貯蓄等ハ割當トシテ利用シ得ズ飛行手當及落下傘手當ハ士官又ハ應召兵ニシテ俘虜トナリシトキ之等ノ追加手當ヲ受クベキ地位ニアル場合俘虜其他ノ不在者ニヨリ又ハ被等ノ爲ニ割當トセララル事ヲ得

565

債券購入政府ノ債券購入ニ對スル俸給及手當ノ割當ハ次ノ金額又
 ヘ其ノ倍額ニテ爲サル即チ一八弗七五、三七弗五〇、七五弗〇〇
 及三七五弗〇〇ナリ十年間ニ於ケル斯ル購入價格ノ債券ノ満了價
 格ハ二五弗〇〇、五〇弗〇〇、一〇〇弗〇〇或ハ五〇〇弗〇〇ナ
 リ之等ノ債券ハ購入ノ日ヨリ六十日後何時ニテモ取戻シ得ラル選
 及力ヲ有スルモノヲ含ム割當ハ俘虜ヨリ受領ス而シテ選及力ヲ有
 スル割當ニヨリテノ債券購入ハ適當ニ期日ヲ選及セシムルヲ得一
 九四四年一月一日以前行方不明又ハ俘虜タル身分始マリシトキ實
 施セラルル債券割當ハ不在ノ始マリシ月ノ第一日ニ於テ中止セラ
 ル一九四四年一月一日以降行方不明又ハ俘虜タル身分始マリシト
 キ有効ナル割當ハ割當受領者ヨリ中止ノ要求ナキ場合ハ繼續シ得
 ラルベシ
 債券ハ通例月ノ第一日ノ日附トシ購入者ガヨリ小ナル額面金額ノ
 發行ヲ希望セザル限り支拂額及額面額ノ最高額トス共有者又ハ受

外務省

戊

566

取人ヲ指名シ得但シ共有者ガ指名セラレタルトキハ債券割當ノ請
求ハ割當受領者ノ署名ヲ要ス債券ハ安全ニ保存スル爲ニ大藏省ニ
預タルコトヲ得ベクソノ受取證ハ名宛人ニ送送セラルヘシ又債券
ハ權威アル代理人或ハ供託所ニ送ラル債券ノ割當ハ不定ノ期間繼
續スル様ナスベキナリ但シ要求ニヨリ變更又ハ中止スルヲ得購入
請求ハ割當人ノ個人的希望ヲ示ササルベカラズ而シテ割當人ノ署
名ト必要ナル事情ノアル限り如何ナル形式ニ於テモ之ヲ受領シ得
ラルベシ

567

家族手當

A、一般的規定、家族手當ハ各階級ノ應召兵全部ノ被扶養者ニ對シ之ヲ支拂フ法律上ノ妻、子女及離婚セラレタル妻（但下記ノ範圍ニ限ル）ハ之ヲ一階級トシ實際ノ從屬關係ノ如何ニ制限ナク且請求アル場合ハ必ズ之ヲ支給スベキモノトス

兩親、兄弟及姉妹ハ前ノ一階級トシ右ハ應召者本人ノ請求ニ依リ支給ノ停止ヲ爲スコトヲ得ベク且主要扶助（五割以上）又ハ之ヨリモ少額ノ財的援助ヲ必要トスルカノ實際ノ依存程度ニ關スル證據ヲ提示スルヲ要ス

一ヶ月給與總額ハ妻五〇弗、子女一名三〇弗、以下一名ヲ増ス毎ニ二〇弗、妻ナキ場合ハ子女一名四二弗、以下一名ヲ増ス毎ニ二〇弗トシ離婚セル妻ニシテ離婚扶助料ヲ受クベキ者ニ付テハ其給與額ハ判決ニ依ル但一ヶ月四二弗ヲ超ユルコトヲ得ズ

主要扶助料受給者ニ對スル一ヶ月給與額ハ親一名ノ場合ハ五〇

弗・兩親又ハ親一名ト兄弟姉妹ノ一名ニ對シテハ六八弗兩親ナ
 キ兄弟姉妹一名ニ對シテハ四二弗以下一名ノ兄弟又ハ姉妹ヲ増
 ス毎ニ一一弗ヲ添加ス何人モ主要扶助ヲ受クルモノナキ場合部
 分扶助ヲ仰ク一人又ハ二人以上ノ兩親兄弟姉妹ノ場合ハ凡テノ
 人ニ對シ月三七弗支拂ヘル主要扶助ノ支拂ガ他方ノ部分扶助ニ
 對スル同時ノ支拂ヲ妨グル場合ヲ除キ二階級ノ被扶養者ニ支拂
 フコト得家族手當ガ被扶養者ノ一人ニ支拂ヘルトキハ何時ニ
 テモ應召兵ノ給料八月二二弗ノ減額二階級ノ扶養者ニ手當ヲ支
 拂ヘルル間八月五弗ノ余分ノ減額アリ

成

569

B 特別規定

(一) 第一、第二、第三階級兵 (master sergeant, technical sergeant, staff sergeant, technician 3rd grade)

ノ被扶養者ノ家族手當ヲ受領スル資格ノ擴大ヲ考慮シ被扶養者ニ對スル宿舍代リノ金銭手當ノ支拂ハ停止サル但シ一九四三年十一月一日右ノ金銭上ノ手當ヲ受領スル資格アル者ハ被扶養者ニ對スル家族手當ノ代リニ同様繼續スル選擇) 權ヲ有ス
右選擇權ハ家族手當ニ對スル政府ノ支出金額少額ナル場合其代替ヲ避クル爲ニ之ヲ許サル但右選擇權ノ繼續ハ當該被扶助者ニ對シ少クモ定額ト同シキモノヲ同時ニ支給セラルル場合ニ於テノミ有效ナルモノトス

(二) 應召兵前記三階級ニアル俘虜ハ金銭ノ手當ヲ繼續スル希望ヲ適當ナル筋ヲ通ジテ陸軍省ニ通知スルヲ得ソノ間被扶養者ニ關スル情報及家族手當ノ申込ヲ陸軍省ニ於テ調製ノ上事實上本人ト

被扶養者ノ爲ニ最善ナリト思ハルルトキ家族手當ヲ許スカ金錢
 手當ヲ繼續スルカノ手續取ラル陸軍省ガ不在者ノ爲ニ斯ク使行
 スル選擇權モ其後特別ニ本人ヨリ要求アル場合ハ變更セラルベ
 シ

C 家族手當ノ變更、家族手當認可ニ關シテハ應召兵ノ如何ナル階
 級ノ付屬ニヨリテ通知セラレタル請求タリトモ考慮セラルベシ
 前記三階級ニ對スル法律所定ノ選擇權ノ使用ハ除外例トシテ妻
 子ニ許サレタル手當ニハ變更ナカレベシ。應召兵ハ兩親兄弟姉妹
 ニ對スル家族手當ノ中止方申請スルヲ得

D 調節、宿所代リニ金錢上ノ手當ヲ繼續又ハ中止セララル場合又
 ハ家族手當ガ許可セラルル場合ニハ傳給割當ニ於ケル悉ユル望
 マシキ調節ガ應召兵及其家族ノ爲ニ爲サル斯ル調節ハ應召兵ガ
 後ニ要求スル變更ノ對照トナルコトヲ得

571

七 政府ノ保險

エ、證據、俘虜ヨリ家族ニ對シテ家族手當ノ請求ヲ受クルヤ居所ノ報告又ハ居所判明次第被扶養者ヨリ親族又ハ家族關係ノ必要ナル證據ヲ入手スル爲必要ナル手續取ラルベシ

A、俘虜ガ健康ナルトキハ保險料支拂及書類ニ依ル申込ヲナス事ニヨリテ五百弗ノ増敷最高一万弗最低一千弗以内ノ國民勤務生命保險ヲ確保スルヲ得保險證券ハ五年期間案ヲ單位トス仍テ有効期間中ハ一年後而モ五年ノ期間以内ニハ終身期間ニ自由ニ變更シ得ラル許サレタル保險金受取人ハ妻、子供、兩親兄弟姉妹ヲ含ム利子ハ月賦拂ニテ支拂ハルルヲ得保險料ハ被保險者ノ年令ニヨリ異ナリ保險成立後ニハ自動的ニ設定セララルル割當制ニヨリテ支拂ハル

赤十字國際委員會代表ハ保險ニ關スル更ニ夫以上ノ情報ヲ提示シ申込方法及身體検査方法ヲ通知スルコトヲ得

572

一九四一年十二月七日以降及一九四二年四月二十日以前米國ノ敵ニヨリ逮捕・包圍セラレ又ハ引續キ三十日以上一九四二年四月十九日以後ニ亘リテ斯ル敵ニ逮捕・包圍・隔離セラレタルトキ米國ト契約セル總額五千弗ノ保險ヲ有セザル現役兵ハ如何ナル者タリトモ其他ノ政府ノ保險ト合セテ保險總額五千弗トナル金額ノ國民勤務生命保險ヲ下附セラル此無料保險ハ本人ガ引續キ逮捕・包圍或ハ隔離セラルル間及其後六ヶ月間保險料ノ支拂ナキモ効力ヲ有ス其後六ヶ月以内ニ申込アルトキハ繼續シ得ラレ其後保險料ハ彼等ノ負擔トス無料保險ニ基ク利子ハ次ノ保險金受取人而モ下記ノ順序ニヨリテノミ支拂ハル

(一) 被保險者ノ寡婦又ハ鰥夫存命中ニテ再婚セサル者

(二) 寡婦又ハ鰥夫權利無キトキ等分ノ配分法ニテ被保險者ノ存命中ノ一人又ハ一人以上ノ子供

(三) 鰥夫又ハ子供權利ナキトキハ等分ノ分配法ニテ被保險者ノ扶養スル母又ハ父

無料保險ノ場合利子ヲ受領セサル者ニシテ保險料ノ支拂ハルル契約保險ノ場合ニハ保險受取人ヲ指命スルヲ得若シ當人カ妻・子供又ハ扶養セラルル親以外ノ者ニ受取方ヲ希望スル場合ニハ申込ニヨリ無料保險ヲ希望スル全額保險ニ變更セラルヘシ
政府發行ノ保險ヲ所有スル人ノ家族ノ境遇變リ受取人ノ變更ヲ必要トスル場合ニハ赤十字代表ヲ通シ希望通りノ變更ニ對スル署名入ノ請求ヲ呈出スヘシ

B 商業保險、不在者ノ生命ニ對シ商業保險ヲ繼續スル必要カ陸軍者ノ注意ヲ喚起スルトキハ如何ナル場合タリトモ保險料ノ割

當繼續セラレ保險料ニ對スル新割當作成セラル海陸軍兵士民事
救濟法ハ被保險者カ保險會社ニ斯ル保護ヲ申込ム場合陸海軍勳
務ヲ爲ス者ニ對シ一萬弗ノ限界内ニ於テ保險料ヲ支拂ハサル爲
ニ生スル失權防止ニ對シ保險證ヲ保護ス申込ハ保險金受取人又
ハ委任狀ニヨリテ直接行ハルルヲ要ス

成

574

被保險者ニヨリテ支拂ハレザル保險料ハ其ノ保險證券ニ對シテ留置權トナリ保險借入證券ニヨリテ決定セラレタル割合即チ通常五%乃至六%ノ利子附セラルスル負債ハ退職又ハ戰爭終了後二年以内ニ支拂ハザル場合ニハ保險證ハ取消サレ前借セシ金額ハ米國政府ニ支拂フベキ負債トナル民事救濟法ノ下ニ保護セラルルモ保險契約者カ當然支拂フベキ場合ニハ俸給ノ割當又ハ他ノ方法ニテ保險料ヲ支拂フベシ保險證券ニ對スル留置權及ビ米國政府ニ對シ結局支拂フベキ負債ヲ避クル目的ヲ以テ商業保險料ヲ支拂得ルトキ之ガ支拂ノ爲割當ヲ設置又ハ繼續スルハ保險契約者ノ利益ヲ圖ラムガ爲ナリ

戊

575

八海陸兩兵民事救濟法 此法律ハ法律訴訟ヲ留保スルコトニヨリ軍

務ニ在ル者ノ利益ヲ保護スル權力ヲ裁判所ニ與フルモノナリ但シ
負債、財産ノ返戻ニ對スル裁判ノ際軍務ニアル者カ出席不能ニヨ
リテ損害ヲ受クル場合ヲ除ク軍務ニアル者ノ家族ハ家賃カ一ヶ月
八〇弗又ハ夫以下ナル場合不拂ニ對シテ住所立退命令ヲ受ケサル
様保護セラル又過去支拂フヘキ税金又ハ課税ニ對シテ軍務ニアル
者ノ不動産又ハ動産ノ賣却ヲ防止スル様保護セラル

九税金、收入税ノ支拂ヲ免セラルル方法ハナキモ俘虜及抑留軍人ニ
對シテ申告ノ作製及聯邦收入税ノ支拂ヲ自動的ニ延期スル法律實
施セラレタリ多數ノ州ハ州收入税ニ關シ同様ノ法律ヲ實施セリ

三委任狀、俘虜ハ不在中人事ヲ處理シ代理ヲスルタメニ一個人ニ委
任狀ヲ渡スコトヲ考慮スヘシ右ノ個人ハ法定年齢ト資格ヲ有スル
家族ノ一員又ハ其他ノ人ニシテ完全ナル信用ト信頼ノ置キ得ル人
タルヘシカカル委任狀ノ許可セララルル場合ニハ其利用ハ事件ノ生

576

スルトキハ軍務ニアル者ヨリノ膏嚮ニ依リ補足セラルルモ、同狀所持者ノ任意タルヘシ

右委任狀ハ承認スル權能ヲ與ヘラレタル公證人又ハ他ノ吏員ノ前ニテ承認セラレ且三名ノ證人ニヨリ立證セラルヘシ陸海軍ノ士官ハ大多數ノ州ノ法律ニ依リ承認ヲ爲ス特權ヲ與ヘラレタリ彼等ノ爲ス承認ハ夫ヲ行フ士官又ハ人ノ階級、通シ番號、勤務科ヲ表示スル必要アリ委任狀ニ關スル其他ノ忠言、提案、樣式及其他ノ事項ハ戰時省發行一軍人ノ私事及扶養家族ノ援助ナル小冊子ニ記述シアリ同冊子ハ米人ヲ收容スル收容所代表ニ要求次第配布セララル様長務省ヨリ米國トノ交戰國內ノ瑞西國公使館ニ於テ準備セララルヘシ

577

一、昇進

A、士官ノ臨時昇進ニ關スル對策ハ士官カ戰團中行方不明又ハ俘虜トナリシ時手續中ノモノハ推薦ニヨリ遂行セラルル士官カ戰團中行方不明又ハ俘虜トナリシ後ハ臨時昇進ハ開始セラレサルヘシ

B、應召兵、戰團中行方不明又ハ俘虜トナリシ應召兵ニ對シ階級ヲ落ス事ナキモ逮捕或ハ行方不明トナリタルトキ彼等ノ所持セシ階級又ハ等級ハ保留セラルヘシ應召兵ニシテ戰團中行方不明トナリ又ハ俘虜トナリシトキ昇進ニ對スル推薦カ夫以前ニ開始セラレタル場合ニハ斯ク報セラレタル後ト雖モ昇進セシメラルヘシ

一ニ俘虜情報局、同局ハ壽府條約第七七條ヲ準據シ華府ニ設立セラレタリ同局ハ壽府赤十字國際委員會ノ管理スル俘虜中央部ヨリ通知スル米人俘虜、其ノ負傷、待遇及身體狀況ニ關スル電報ヲ受理

578

又同様ノ通報ハ利益代表國（瑞西）ヲ通シテモ受理セラルスノ如キ報道ハ郵便規則及俘虜情報ノ拔萃ヲ掲載スル報道通牒ト共ニ各近親者ニ傳達セラル各俘虜ニ對スル書類發送ノ保存ヲ爲シ又俘虜ニ關スル問合ニ對シ回答ヲ行フ

二 通信 陸軍省ノ高級副官ニ宛テレタル俘虜ヨリ正式ノ請求申請又ハ問合セハ其ノ行動ニ移ス爲ニ適當ナル代理人ニ移送セラル俘虜ガ家族宛ノ通信文ニ於テ職務上ノ事件ニ關スル希望ヲ通知スルトキハ家族ガ陸軍省ニ其希望ヲ傳送スルヲ以テ陸軍省ニテハ出來得ル限り之ニ應ズル事ヲ政策トナス多クノ割當ハ斯シテ開始セラレ或ハ増加セラレタリ

579

見	通	信	長	官
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

控

傳給身主書

在西貢米人傷病俘虜取扱関係件

昭和十九年十二月八日

俘虜情報局長官

信參謀長

恭俘虜收容所長

殿

首題ノ件ニ関シ別紙寫ノ通照會アリタルニ付之ガ回答次第
モアリ反駁資料提供相成度

通牒先

信參謀長

恭俘虜收容所長